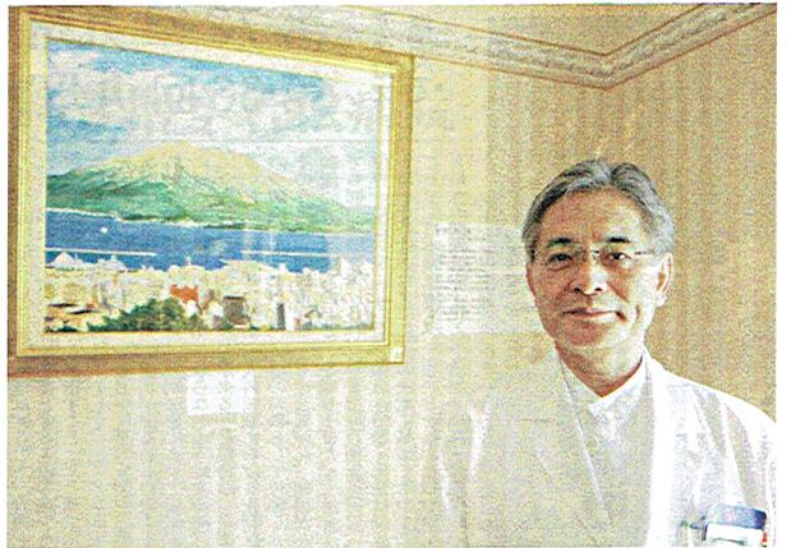


頸椎損傷、脳出血を乗り越え 一人の人間として 患者に向き合う

[北九州市]

医療法人 永真会
永田 貴久 青葉台病院
病院長



亡父、永田隆一さんが描いた故郷・桜島の絵の前に立つ永田貴久病院長。

内科・胃腸科・呼吸器科・循環器科・リハビリテーション科を標榜し、地域のための外来機能と、基幹病院などの後方支援機能を併せ持つ、福岡県北九州市の青葉台病院。同院の永田貴久病院長に、これまでの歩みや願いを聞いた。

母の死をきっかけに
私が医学部を目指す
と思ったのは、25歳の時
でした。母が肝臓がんで
亡くなり、「どうして死
ななければならなかった
のか」と疑問を持ったの
がきっかけです。翌年、
産業医科大学に入学。運
が良かったと思います。
大学2年に進級したそ
の日、ハンドボール部の
練習でウェイトトレーニング
が走りまわっていました。次第に
腫れてくるし、あまりに

痛い。大学の病院に行く
と、頸椎損傷で即入院と
なりました。1カ月後に
手術。その後しばらくは
寝たきり。大学を1年間
休学し、治療とリハビリ
に当てました。
当時、泌尿器科教授で
学生部長だった杉田篤生
先生がけがの直後に休学
を勧めてくれました。整
形外科教授だった鈴木勝
己先生をはじめ整形外科
にもお世話になりました。
第1外科に入局した時に
は鈴木教授から「うちに
入ると思つたのに」と
言われましたね。
入局の決め手は当時教
授だった大里敬一先生と
の出会いです。たまたま
第1外科に先輩がいて、
大里先生に会わせてくれ
ました。私は、医師にな
るのが他の人より8年遅
かった。それが自分で気
になっていました。でも
大里先生は「遅れは心配
せん得意い。8年遅れた
ら、人より8年長生きす
ればいい」と。もともと
尊敬していました。進
路を決める時期に会わせ
てもらい、これも縁だと
思いました。

急激な頭痛に襲われて
入局後は、医局からの
派遣で福岡県内の労災病
院などに勤務した後、1
998年に鹿児島県の労
働衛生センターへ出向し
ました。私は鹿児島県の
出身でしたから、「地の
利があるだろう」という
こともありました。
当初は2〜3年の予定
だったのですが、だんだ
んと任せられる仕事が増え
所長になりました。「も
うここで定年を迎えるん
だな」と思い始めていた
46歳の10月のこと。仕事
が終わり官舎に戻ると、
急激に頭が痛くなりまし

た。さらに、右半身が動
かない。「これは脳血管
障害に違いない」と思い
ました。
この時、私は単身赴任
で家族は北九州。自分で
救急車を呼び、救急車を
待つ間に、副所長の伊藤
亜紀先生ら2人に電話を
して「明日から頼む」と
言いました。
また、当時の産業医科
大学第1外科教授、伊藤
英明先生にも電話して、
自分は脳血管障害の可能
性が高いこと、指示系統
に混乱が生じるので派遣
を切り上げてほしいと
旨を伝えました。
その後、意識を失いま
したが、搬送が早かった
ため出血範囲が狭く済
みました。退院後、すぐ
に大学に戻るのには難し
いだろうという伊藤英明
先生の判断で、1年間、青
葉台病院に出向すること
になりました。そのまま、今
までここでお世話になっ

ています。
「この理事長の名字も
私の名字も「永田」なの
で親戚だと思われん
が、そうではなく、私は
いまだに、大学からの派
遣扱い。今も毎週火曜日
は大学で手術に立ち会っ
て勉強させてもらって
います。」

自らの経験生かし
頸椎損傷と脳出血を経
験していますので、患者
さんが言うしびれなどの
感覚はよくわかります。
「しびれが戻らない」と
言う患者さんには、「新
しい体だと思つて慣れる
方が、機能回復が早い気
がするよ。僕がそうやけ
んと伝えました。そうす
いで、お年寄り話を聞
いてくれますし、納得し
てくれることが多い気が
します。」

命が消えるまで
どんな状態であっても、
許される範囲で動き、感
情を表出することが、そ
の人生に生きることで、
と私は思います。人間は
いずれ死にます。医療は
その人が生き生きと生き
ていくことを支えることし
かできません。
当院の入院患者の半数
はがんの末期の方です。
モルヒネや硬膜外麻酔で
体の痛みを取ることで
薬を使い、抗不安薬を
使っても、死への恐怖や
不安は取れない。そこか
らは魂の問題になります。
そんな時に、われわれ
医療スタッフにできるの
は話を聞き心を落ち着か
せること。医学知識は必要
ですが一人の人間として
向き合うとき、良質な人
間であるかが要求され
る。スタッフにもそれを
問いたいと思うのです。
そして、たとえ看取すこ
とになったとしても、「こ
の病院で良かった」と思
者さんや家族に思つても
らえたらと願っています。



1998年に移転開設された青葉台病院(48床)。循環器、呼吸器、消化器疾患や脳血管障害、悪性腫瘍など幅広い病気の患者を受け入れている。

た。さらに、右半身が動
かない。「これは脳血管
障害に違いない」と思い
ました。
この時、私は単身赴任
で家族は北九州。自分で
救急車を呼び、救急車を
待つ間に、副所長の伊藤
亜紀先生ら2人に電話を
して「明日から頼む」と
言いました。
また、当時の産業医科
大学第1外科教授、伊藤
英明先生にも電話して、
自分は脳血管障害の可能
性が高いこと、指示系統
に混乱が生じるので派遣
を切り上げてほしいと
旨を伝えました。
その後、意識を失いま
したが、搬送が早かった
ため出血範囲が狭く済
みました。退院後、すぐ
に大学に戻るのには難し
いだろうという伊藤英明
先生の判断で、1年間、青
葉台病院に出向すること
になりました。そのまま、今
までここでお世話になっ

ています。
「この理事長の名字も
私の名字も「永田」なの
で親戚だと思われん
が、そうではなく、私は
いまだに、大学からの派
遣扱い。今も毎週火曜日
は大学で手術に立ち会っ
て勉強させてもらって
います。」

自らの経験生かし
頸椎損傷と脳出血を経
験していますので、患者
さんが言うしびれなどの
感覚はよくわかります。
「しびれが戻らない」と
言う患者さんには、「新
しい体だと思つて慣れる
方が、機能回復が早い気
がするよ。僕がそうやけ
んと伝えました。そうす
いで、お年寄り話を聞
いてくれますし、納得し
てくれることが多い気が
します。」

命が消えるまで
どんな状態であっても、
許される範囲で動き、感
情を表出することが、そ
の人生に生きることで、
と私は思います。人間は
いずれ死にます。医療は
その人が生き生きと生き
ていくことを支えることし
かできません。
当院の入院患者の半数
はがんの末期の方です。
モルヒネや硬膜外麻酔で
体の痛みを取ることで
薬を使い、抗不安薬を
使っても、死への恐怖や
不安は取れない。そこか
らは魂の問題になります。
そんな時に、われわれ
医療スタッフにできるの
は話を聞き心を落ち着か
せること。医学知識は必要
ですが一人の人間として
向き合うとき、良質な人
間であるかが要求され
る。スタッフにもそれを
問いたいと思うのです。
そして、たとえ看取すこ
とになったとしても、「こ
の病院で良かった」と思
者さんや家族に思つても
らえたらと願っています。

■略歴 1991 産業医科大学医学部卒 1992 同第1外科学教室入局、臨床研修医 1993 労働福祉事業団九州労災病院外科/胸部血管外科 1995 産業医科大学病院第1外科専修医 1996 労働福祉事業団門司労災病院外科 1998 産業医科大学医学部第1外科非常勤助手、鹿児島県労働基準協会鹿児島労働衛生センター産業健康部長 2000 同診療部長 2004 同所長 2005 医療法人永真会青葉台病院診療部長、論文提出により学位(医博)受領 2006 同副病院長 2008 同病院長
■資格等 日本外科学会外科専門医、日本人間ドック学会認定医、日本乳癌学会認定医、臨床研修指導医、福岡県医師会認定総合医、日本医師会認定産業医、労働衛生コンサルタント(保健衛生)、産業医科大学医学部第1外科学非常勤医師など。



頼まれた患者さんはすべて引き受ける、これが方針。院長になってから今まで受けなかったことはありません。

より快適なくらしのために

訪問入浴サービスを行っています
アップルハートでは、安全で快適な入浴を
しっかりとサポートいたします。
入浴は、心身ともにリラックスし、
爽快感を高め、回復意欲を促進します。
アップルハート
八幡西訪問入浴センター TEL: 093-695-7766
麻生介護サービス株式会社

Make Next.
株式会社 九電工
北九州支店 執行役員支店長
外堀 隆博
若松営業所 所長
山田 利一
〒808-0022 北九州市若松区安瀬 27-1
TEL: 093-771-1121 FAX: 093-771-1123

(順不同)
総合生活産業
第一交通産業グループ
全国予約フリーコール
0120-582-555
北九州市小倉北区馬場 2-6-8 TEL: 093-511-8811